

# 2022年度(令和4年度)学校評価自己評価表

城東中学校区	校番 13	福山市立蔵王小学校
最終更新日		2023年(令和5年)2月20日

## I 福山市

<p>ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。</p> <p>ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&amp;倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。</p>
---

## II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <p>中学校区で統一した育成する力(21世紀型“スキル&amp;倫理観”)のもと、9年間を見据え児童・生徒の思考や単元の意義を協議し、子どもの学ぶ姿から授業を構成する。</p>	<p>児童生徒の現状</p> <p>自分の考えをまとめ、他者と協働し、課題を解決しようとする力が育ちつつある。</p> <p>自己有用感、自己肯定感が低い児童・生徒において、学ぶ意欲の向上に課題がある。</p>	<p>育成する力(21世紀型“スキル&amp;倫理観”)</p> <p>めざす子ども像(義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>スキル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題を見つけ、解決の道筋を見いだす力 &lt;課題発見・解決力&gt;</li> <li>○根拠をもって相手を説得する力 &lt;論理的思考力・表現力&gt;</li> <li>○自他を認め合い思いやる態度 &lt;協働性&gt;</li> <li>○自らの行動を律し、高まろうとする態度 &lt;自己指導力&gt;</li> </ul> <p>目標を定める子 ねばり強く学ぶ子 自らを律し行動する子</p> <p>校区スタンダードで目指す児童・生徒の姿(達成基準)を系統的に4つのステージで捉え、校区で統一した取組を進め、共通の指標で評価していく。</p> <p>自ら考え学ぶ授業改善の実現に向けて、校区全体で児童・生徒に育むスキルと倫理観を明確にする。系統的指導のあり方を協議の柱として、校区授業研究を活性化する。</p>
---	---	--	--

## III 自校

<p>ミッション</p> <p>主体的な学びを通し、自立し、自己と郷土の豊かな将来を創造する生徒を育てる。</p>	<p>育成する力(21世紀型“スキル&amp;倫理観”)</p>	<p>課題発見・解決力</p>	<p>論理的思考力・表現力</p>	<p>協働性</p>	<p>自己指導力</p>	
<p>学校教育目標</p> <p>豊かな心を持ちたくましく伸びる子</p>						
<p>現状</p> <p>&lt;児童&gt;</p> <p>○子ども自ら、見通しをもち、単元の最後にふり返りをする中で、学びの主役が子どもになってきている。高学年では、自分で計画を立てる自主学習が定着してきた。</p> <p>○三者懇談で、自分の学びを自分で語ろうとする子どもが増えてきている。</p> <p>&lt;授業&gt;</p> <p>○高学年では、既習にふり返って、自分の学びをメタ認知することで自主学習の取組が、「自分の好きなこと」から、「自分の伸ばしたいこと」に変容しつつある。</p> <p>○全国学力テストの結果から、国語では、語彙力が少なく、書かれていることを正確に読み取り、自分の考えを作ることに課題が見られた。</p>	<p>めざす子ども像</p>	<p>低学年</p> <p>課題を見つけ、解決しようとしている。</p>	<p>相手の意見を最後まで聞き、自分の考えを持ち、相手に伝えることができる。</p>	<p>友だちの良いところに気付いている。</p>	<p>様々な活動に進んで挑戦し、責任を持ってやり遂げようとしている。</p>	
	<p>めざす子ども像</p>	<p>中学年</p> <p>課題を見つけ、既習事項や経験をもとに解決しようとしている。</p>	<p>相手の意見を取り入れながら、根拠を明らかにして自分の考えを伝えることができる。</p>	<p>自分や友達の良さに気付き、お互いに認め合っている。</p>	<p>自らの行動や学びが適切であるか振り返りながら、より良い生き方を考え創り上げようとしている。</p>	
	<p>めざす子ども像</p>	<p>高学年</p> <p>課題を見つけ、見通しを持って仲間と共に解決しようとしている。</p>	<p>自分の意見と相手の意見を比べながら聞き、根拠を明らかにして自分の考えを、説明することができる。</p>	<p>相手意識を持ち、積極的に人間関係を築こうとしている。</p>		
	<p>研究</p>	<p>テーマ</p> <p>内容等</p>	<p>自他との関わりを通して、学び続ける子どもの育成</p> <p>児童が自己変容をメタ認知し、自分の成長を語るができる。</p>			
	<p>めざす授業の姿</p>	<p>・見通し→自己選択・自己決定→学び合い→振り返り・評価のサイクルで自己変容を実感する授業</p>				

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立蔵王小学校

Table with 12 columns: 年目, 中期経営目標, 重点, 分類, 短期経営目標, 目標達成に向けた取組, 評価指標, 中間評価(10月1日) (sub-columns: 目標に係る取組状況, 達成評価, 改善方策), 最終評価(2月末) (sub-columns: 目標に係る取組状況, 達成評価, 総合評価, 改善方策). Rows 1-3 describe goals for reading, self-efficacy, and school trust.

Table with 3 main sections: [プロセス評価の評価基準], [達成評価の評価基準], [総合評価の評価基準]. Each section contains a 5-point scale from 5 (highest) to 1 (lowest) with corresponding descriptions of achievement levels.